



平成 30 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ビジョナリーホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦
 (JASDAQ・コード9263)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役執行役員CFO 三井 規彰
 電 話 03-6453-6644 (代表)

通期連結業績予想の修正

および特別損失（減損損失）の計上、繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、平成 29 年 11 月 1 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失（減損損失）及び繰延税金資産を計上いたしますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株あたり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	20,630	700	600	230	1.64
今回修正予想 (B)	21,776	701	573	711	3.96
増減額 (B - A)	1,146	1	△27	481	
増 減 率	5.6%	0.2%	△4.5%	209.2%	
(ご参考) ※ 平成 29 年 4 月期実績	17,892	422	336	110	0.39

※ 当社は、平成 29 年 11 月 1 日に単独株式移転により設立されたため、株式会社メガネスーパーの実績となります。

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、当社グループが掲げるアイケアを更に拡充・先鋭化させ、店内装飾を上質かつパーソナルな空間を確保した店舗レイアウトにより、安心して検査やお悩みをご相談いただけるよう配慮した「次世代型店舗」に一部店舗をリニューアルした効果、並びに眼の健康寿命延伸に繋がるアイケアサービスの普及・啓発活動の効果と相俟って、眼鏡等小売事業が好調に推移した結果、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

利益面では、販売費及び一般管理費については概ね計画通りに進捗し、営業利益については前回発表予想通りの結果となる見込みですが、経常利益につきましては平成 30 年 2 月に実施いたしました

リファイナンスに伴う一時費用 63 百万円を計上したことにより、前回発表予想より 27 百万円下回る見込みです。また、下記「4. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり、回収可能性のある繰延税金資産を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を 481 百万円上回り 711 百万円となる見込みです。

3. 特別損失（減損損失）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の連結子会社が保有する不動産等一部の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行った結果、平成 30 年 4 月期第 4 四半期において、売却予定不動産、遊休資産及び店舗の減損損失として、約 84 百万円を特別損失に計上する見込みです。

4. 繰延税金資産の計上について

当社の連結子会社である株式会社メガネスーパーが 3 期連続の黒字を達成したこと等、平成 30 年 4 月期および今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成 30 年 4 月期第 4 四半期連結会計期間において、繰延税金資産約 269 百万円を計上する見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります。

以上